

BHN広島事務所の西日本豪雨被災者支援活動等の特徴

2023年9月20日

BHN広島事務所長 福田卓夫

これまでの経過

2018年から 西日本豪雨被災者支援活動

2021年から 令和3年7月・8月豪雨被災者支援活動

2022年から オンラインでの支援活動

2023年から 国内災害ICT支援活動拠点ネットワーク事業

現地での活動

- BHNパソコンコーナーの定期巡回設備点検と活用相談を兼ねて定期的に現地に出向いてふれあい型実践研修会を実施
- ひとりひとりのニーズに合ったパソコン研修から始め、地域の防災・減災対応強化や情報共有のためのスマホ・タブレット研修も実施



オンラインでの支援活動

- コロナ禍で現地活動を中止したのをきっかけに、オンラインでの支援活動を開始
- 日常的にSNSで交流し、地域の情報交換やICT活用相談を実施
- オンラインミーティングも開催



沖田英一

プリンターの色印刷についてお聞きしたいのですが茶色指定で印刷したら紫色で仕上がりました。原因は何が考えられるでしょうか？

午後 4:52



沖野啓子オッキイ

年賀状印刷を控えているので、プリンターの色の不具合は困りましたね。

午後 6:10



沖野啓子オッキイ

ヘッドクリーニングするとか?では、解決しませんよね。

午後 6:12

プリンターで何かの色が詰まって出ていないのだと思います。まず、次の手順でチェックをしてください。

- ・プリンターのパネルから
 ーのボタンを押して「プリンターのお手入れ」を出し「OK」ボタンを押す。
- ・「ノズルチェック」と表示されるので「OK」ボタンを押す。
- ・紙をセットして、右下の◇のようなボタンを押して印刷を開始する。

もし、何かの色が欠けていれば、クリーニングをします。クリーニングをしたら、再びノズルチェックをして確認します。

既読 13
午後 6:21



沖田英一

アドバイスありがとうございます！試してみます。

午後 7:26



沖田英一

プリンターの手入れをしたら黄色のインクが出なかったのが出るようになりました。ありがとうございました！

午後 12:39



開発センター

- 広島開発センターでは、これまでの活動の経験・ノウハウと資料を取りまとめたデジタルキット化作業及び新たな支援活動のための研修を実施
- 島根開発センターでは、備蓄パソコン・タブレットの保守・管理を行うとともに、新たなネット活用型支援活動の開発・マニュアル作成等を実施



これまでの活動から

- 活動の基本姿勢は被災者に寄り添うことで、信頼を得て活動展開が可能に
- オンラインによる支援を併用することで、より充実した活動が可能に
- ICT活用で最も重要なのは、防災・減災のための情報の活用と地域での情報共有
- 地域団体と連携して活動を推進することが必要で、更にICT活用により地域の活性化にも貢献



今後の活動のポイント

1. 各地域の団体と連携して、地域の防災力向上や地域活性化に貢献できる活動を継続する。
2. 全国各地の被災者支援活動に活用できるデジタル資料を作成し提供する。
3. 全国で活用できるICT機器を備蓄するとともに、これらを活用したネット活用型支援活動の開発・実証を行う。

資料編

1. ワンペーパーを活用した現地調整業務、ICT機器の事前確認試験業務、BHNパソコンコーナー開設業務、定期巡回設備点検・活用相談
2. 平常時における「現地に出向いた、ふれあい型実践研修会」
3. コロナ禍における「ネット活用型スマホ研修会・タブレット研修会」
4. 大規模広域災害被災地においてICTを活用した地域コミュニティ再生・活性化の為のパソコン・タブレット・スマホ研修会

西日本豪雨被災者支援事業

ワンペーパーを活用した現地調整業務、ICT機器の
事前確認試験業務、BHNパソコンコーナー開設業務、
定期巡回設備点検・活用相談

2023年4月20日

BHN広島事務所

福田卓夫

ワンペーパーを活用した現地調整業務

●自治体との協議

ICT被災者支援事業を始めるにあたり、次のとおり各市町の仮設住宅の整備担当課を訪問し、事業の趣旨と概要を別紙のワンペーパーにより説明し、仮設住宅の集会所にパソコン等の機器を設置するための協議を行いました。

2018年8月23日 呉市都市部住宅政策課、坂町建設部産業建設課

8月29日 三原市都市部住宅対策課

その結果、いずれも事業の実施を歓迎され、協力して頂けることになり、仮設住宅への入居説明の際に、住民に対して当方の事業についても紹介してもらえることになりました。

また、パソコン等の機器の設置と事業の実施については、仮設住宅集会所の管理を行う地域支え合いセンターや自治会と調整をして進めるようにということでした。

そこで、地域支え合いセンターを運営する社会福祉協議会や仮設住宅自治会に、事業の趣旨・内容と設置する機器等について説明を行い、理解と協力を得て進めました。

活動対象の仮設住宅は、呉市・天応応急仮設団地、呉市・安浦応急仮設団地、坂町・平成ヶ浜中央公園及び東公園応急仮設団地、三原市・あやめヶ丘応急仮設団地であり、それぞれ機器の設置準備を進めました。

BHN西日本豪雨被災者支援事業 (広島県呉市・坂町・三原市) ~被災地域コミュニティ活動の円滑化・活性化に資するパソコン環境整備・運用支援~ 事業期間 (2018年8月21日~2019年1月20日)

特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム JPF プログラム名 西日本豪雨被災者支援2018

Telecom for Basic Human Needs 特定非営利活動法人 BHNテレコム支援協議会

2018年8月21日版

プログラム名：西日本豪雨被災者支援2018 事業名：西日本豪雨被災地の広島県呉市・三原市・坂町での仮設住宅団地を中心に地域コミュニティ再生に資するパソコン環境整備・運用支援

支援対象仮設住宅団地集会所等

広島県呉市・坂町・三原市に開設される「仮設住宅団地集会所又は相当施設」5カ所を対象とする。

- 呉市…天応大浜応急仮設団地 安登公園応急仮設団地
○坂町…平成ヶ浜中央公園応急仮設団地 平成ヶ浜東公園応急仮設団地
○三原市…あやめヶ丘応急仮設団地



仮設住宅団地集会所

仮設住宅フェーズ



ICT設備設置工事(集会所)



巡回設備点検



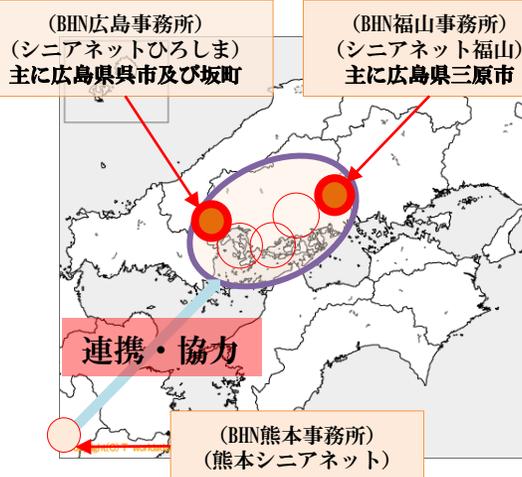
ICT活用相談(集会所)



仮設住宅団地・自治会長が企画・作成した仮設住宅住民が参加する各種イベント案内チラシ



パソコン研修会(集会所)



「支援活動の方法」仮設住宅団地集会所等へのICT設備設置に先立ち、BHN広島事務所及びBHN福山事務所の地域調整担当が中心となって、①現地調整業務を実施します。当該仮設住宅団地に直接関係する地元行政部門・地元社会福祉協議会(地域支え合いセンター)・仮設住宅団地自治会役員等にJPF(ジャパン・プラットフォーム)西日本豪雨被災者支援活動の主旨説明を実施し、ICT設備の設置個所を決定します。現地調整業務終了後、現地支援活動担当者が、②ICT設備の設置工事を実施します。ICT設備の設置後は、仮設住宅団地自治会役員・住民自身が中心となって、仮設住宅団地集会所に配備したパソコン・プリンター・Wi-Fi等を活用し、新たなコミュニティの形成・活性化ができるよう、③プリンター用インク補給・印刷用紙補給を含め、定期的に巡回設備点検・活用相談を実施していきます。これらを基本事業として実施します。希望が寄せられる場合は、④簡易な巡回「パソコン研修会」を企画・実施します。なお、上記の現地調整業務の過程において、地元行政部門・地元社会福祉部門・地域支え合いセンター等からICT支援の要望が寄せられた場合は、予備キットを用いてパソコン環境を整備し、定期的に巡回設備点検・活用相談する等の支援を実施します。

呉市・天応
応急仮設団地



(2018年8月23日撮影)

呉市・安浦
応急仮設団地



(2018年8月23日撮影)

坂町・平成ヶ浜中央公園
応急仮設団地



(2018年8月23日撮影)

三原市・あやめヶ丘
応急仮設団地



(2018年8月29日撮影)

呉市・天応応急仮設団地・談話室



(2018年8月23日撮影)

坂町・平成ヶ浜東公園
応急仮設団地 建設予定地



(2018年8月23日撮影)

三原市・あやめヶ丘応急仮設団地
談話室



(2018年8月29日撮影)

ICT機器の事前確認試験業務

ICT機器(パソコン、プリンター、Wi-Fi)を現地に設置する前に、各機器の動作チェックを行い、各パソコンにGoogleアカウントを取得・設定し、これによりWi-Fiにログインできることを確認しました。



2018年9月25日 府中南公民館



2018年10月9日 福山市市民参画センター

BHNパソコンコーナー開設業務

自治体と協議後、パソコン等の設置に向けた準備を進めました。支援メンバーでパソコンの設定と習熟研修を行って事業開始に備えるとともに、地域支え合いセンターと連絡を取り、現地確認をして機器設置の打合せを行いました。

その結果次のとおり、仮設住宅集会所へのパソコン、プリンター、インターネット接続機器(ドコモおくダケWi-Fi)及び印刷用紙等の設置を行いました。

2018年10月16日 坂町 平成ヶ浜中央公園 応急仮設団地・集会所

10月17日 三原市 あやめヶ丘 応急仮設団地・談話室

10月27日 呉市 天応 応急仮設団地・談話室

10月30日 呉市 安浦 応急仮設団地・談話室

12月 4日 坂町 平成ヶ浜東公園 応急仮設団地・談話室



坂町・平成ヶ浜中央公園
応急仮設団地・集会所
(2018年10月16日撮影)



坂町・平成ヶ浜東公園
応急仮設団地・談話室
(2018年12月4日撮影)



呉市・天応
応急仮設団地・談話室
(2018年11月17日撮影)



呉市・安浦
応急仮設団地・談話室
(2018年10月30日撮影)



三原市・あやめヶ丘
応急仮設団地・談話室
(2018年10月17日撮影)



坂町・平成ヶ浜中央公園
応急仮設団地・集会所
(2018年12月4日撮影)

開設後のBHNパソコンコーナーは現地要望に合わせて時々設置替え等柔軟に対応してきました。



BHNパソコンコーナーの開設が完了した集会所・談話室の掲示板には、「パソコン研修会イベント開催案内チラシ」を掲示しました。

BHNパソコンコーナー定期巡回設備点検・活用相談



定期巡回設備点検模様
(坂町・平成ヶ浜中央公園応急仮設団地・集会所
2018年10月27日撮影)

設置した機器は定期的に巡回点検を行いました。
点検作業は、パソコン研修イベント開催時には一緒に実施して効率化を図りました。
この結果、大きなトラブルはなく、安定して利用することができました。



呉市・天応応急仮設住宅団地住民代表、呉市・社会福祉協議会(地域支え合いセンター職員)と当方でパソコン研修会の実施に向けて打ち合わせを行い、住民の希望を踏まえて計画することにしました。
(呉市・天応応急仮設団地・談話室
2018年12月17日撮影)



定期巡回設備点検模様
(三原市・あやめヶ丘応急仮設団地・談話室
2018年12月13日撮影)



定期巡回設備点検模様
(呉市・安浦応急仮設団地・談話室
2018年11月17日撮影)

呉市天応でパソコン研修会を開催するにあたって、自治会から要望があったのは、これまでは自治会のチラシ等の文書は地域支えあいセンターの社協職員が作成していたが、今後は住民が作成できるようにしたいので支援してほしいということでした。

そのために、自治会世話役の沖田氏が自治会で必要な文書を自ら作成できるように研修してきました。その結果、十分にパソコンを活用できるようになり、自治会活動に役立てています。



【第1回パソコン研修会】
パソコンを操作するのは初めてだ
ということで、基本的な操作から
研修を始めました。

2019年1月18日撮影



【第5回パソコン研修会】
当方で作成したひな形を利用して
チラシを作ることができるよう
に研修しました。

2019年4月24日撮影



【第20回パソコン研修会】
チラシのひな形をベースに自分で
思うように作成できるよう
になりました。

2020年2月12日撮影

西日本豪雨被災者支援事業

平常時における
「現地に出向いた、ふれあい型実践研修会」
～ おもな活動一覧 ～

2023年4月10日

BHN広島事務所

(福田卓夫、岩本一子、岡崎幸子、沖野啓子、杉原瑞枝、寺岡和子、廣中香)

項目	研修目的	準備	
初めてのパソコン	パソコンを初めて使う人のために一から分かりやすく説明する	パソコン、WiFi、プリンターなどの機器が使えるように準備	
文字の入力練習	ローマ字入力の練習	ローマ字の一覧表	
インターネットを使おう	情報を得るためにインターネットを利用しよう		
緊急連絡カード	緊急時の身分証明にもなる「カード」を手元に置こう	あらかじめ手書きで情報を記入してもらい、情報に間違いがないか確認する	
転居通知のはがき	新住所を知らせるはがきの作成		

緊急連絡カードの作成

- 緊急連絡カードを作成
 - 血液型やかかりつけ医院の情報などを記入する
 - 連絡先がすぐに分かるようにする
 - 名刺大のサイズで、お財布などに入れて持ち歩けるようにする
 - ラミネート加工して、保存をよくする
- ※個人情報の取り扱いには気を付けるように注意



緊急連絡カード		医療情報
氏名		◆かかりつけ医療機関
生年月日	年 月 日	
〒		◆その他
本人住所 電話番号	電話:自宅	
血液型	型	
連絡先		

本カードをご覧の方は、本人又は緊急連絡先まで連絡をお願いします

手書きのカード情報を準備して確認しながら作成



項目	研修目的	準備	
年賀状	干支のイラストなどが入った年賀状を作成する	賀状のサンプルを準備	
ポチ袋	お年玉にも使えるポチ袋 相手に合わせて名前を入れることもできる	お正月らしいイラスト	
祝箸袋	家族の名前を入れた箸袋		
マイカード	名前と電話番号の簡単なマイカード お互いの電話番号などをお知らせするのに便利	ラミネート	
ラベル	名前のシールやラベル	持ち物に貼る名前のシール 瓶などに貼るラベル	
一筆箋	手軽にメモ書きにも使える一筆箋		
絵葉書	写真入りのはがき	自分で撮った写真	

年賀状の作成、祝箸袋・ポチ袋の作成

新年を心新たに迎える準備をする
家族の一人一人の分を心を込めて作る
賀状のサンプルを準備しておく



項目	研修目的	準備	
カレンダー	日々の予定や記録を記入しておく	カレンダーのサンプル	
自分が生まれた年月のカレンダー	自分や家族の生まれた日の曜日が分かる	生まれた年月で出せる関数入りのカレンダー	
うちわ	オリジナルのうちわを作ろう	うちわの骨組	
ミニメモ帳	小さくて持ち歩けるメモ帳を作ろう		
思い出のアルバム	思い出の写真をアルバムにしよう	アルバムに入りたい写真を個人別に分けておく	

カレンダーの作成

毎月の予定を書き込んだり、覚書にも利用してもらう
生活に張りを持ってもらう
自分の好きなイラストや写真を取り込んで楽しんでもらう
自分で撮った写真などを使ってみる



アルバム作り

活動の様子をアルバムにして
各人に渡す



西日本豪雨被災者支援事業

コロナ禍における

「ネット活用型スマホ研修会・タブレット研修会」

～ おもな活動 ～

2023年4月10日

BHN広島事務所

(福田卓夫、岩本一子、岡崎幸子、沖野啓子、杉原瑞枝、寺岡和子、廣中香)

項目	研修目的	準備等	
初めてのタブレット	タブレットを使ってみよう	貸し出し用タブレット	
タブレットで防災を学ぼう	防災サイトを見ながら、普段から心がけたいことなどを学ぶ	NHKや各自治体の防災サイトのURL	
初めてのスマホ	電話をかけよう スマホでできることを知ろう スマホのアプリの中から自分に必要なアプリを取り込むには？	各自のスマホ 使ってみたいアプリの一覧表	
LINEのグループを作ろう	グループを作って情報を共有しよう	LINEで友達になるには？ LINEグループの作り方	
オンラインで話そう	LINEのグループビデオ電話で話をしよう	ビデオ電話の使い方を練習する	
LINEグループに写真を送ろう	撮った写真をLINEグループにおくる		

タブレットで防災情報を知ろう

- 事前研修をして「ポケット防災手帳」を準備しました。
- タブレットを使って、自治体などの防災情報を見えています。
- 「備えること」の大切さを確認しました。



エンライン大浜の活動

- LINEの勉強会の後、天応大浜のLINEグループを作りました。
- コロナ禍で訪問が中止となり、LINE ビデオ通話でのオンライン対談を実施しました。
「エンライン大浜」として2022年1月、2月、7月、8月、2023年1月に実施しています。
- 毎日の朝の挨拶や定期的なコメントを発信するようになりました。
- 画像も添付され、とても楽しいグループLINE になっています。
- たくさんたまった画像で、動画を作成して共有しようと、現在模索中です。



BHNの国内災害ICT支援活動拠点ネットワーク事業

大規模広域災害被災地において
ICTを活用した地域コミュニティ再生・活性化の為の
パソコン・タブレット・スマホ研修会

2023年4月20日

BHN広島事務所

福田卓夫

目次

1. [これまでに取り組んできた活動と今後の展開](#)
2. [作成中のデジタルキットの内容](#)
3. [広域災害後方支援ICT機能整備](#)
4. [今後の支援活動の在り方](#)
5. [開発センターにおける活動](#)
6. [現地活動の位置付け](#)
7. [ネット活用型被災者支援活動手法の開発・活用](#)
8. [支援活動の目的と地域での連携](#)

1.これまでに取り組んできた活動と今後の展開

西日本豪雨被災者支援活動(呉市天応・安浦、坂町)

- ・ 呉市天応地区については、引き続きICT活用による地域コミュニティの活性化を支援します。
- ・ LINEグループによる日常的な交流、現地訪問・オンラインによるサポートを継続するとともに、ネット活用型支援活動の実証を行っていきます。(その他の地区についても住民の希望により対応)

令和3年7月・8月豪雨被災者支援活動(島根県大田市)

- ・ 住民が防災情報の入手・活用、災害時の情報伝達、防災対策も含めた地域コミュニティの活性化に役立つようなICT活用研修を継続し、この研修用に作成したテキストを他地域にも展開します。

支援活動拠点における活動(府中南公民館)

- ・ これまでの活動の経験・ノウハウと資料を取りまとめたデジタルキット化作業及び活動を行うための研修を継続するとともに、新たなネット活用型支援活動の実証を行えるようにします。

開発センターにおける活動(島根県大田市)

- ・ 備蓄パソコン・タブレットの保守・管理、今後の新たなネット活用型支援活動に対応できる利用方法の開発・マニュアル等の作成を行います。

2.作成中のデジタルキットの内容

1.支援活動の記録

これまでの支援活動の記録を整理し参照できるようにしています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	No.	年	月	日	場所	主な内容	参加者数	支援者数	写真(SwayのURLを貼付けてEnter)
2	1	2018	10	23	坂町	パソコン・インターネット利用の基本操作	3	7	https://sway.office.com/X4UtbFp3j4BF5ms?ref=Link
3	2	2018	10	27	坂町	年賀状、文字入力、インターネット	4	6	https://sway.office.com/awpv6L03HwLTOeEH?ref=Link
4	3	2018	11	19	坂町	年賀状、文字入力	9	6	https://sway.office.com/A3FXeFAAIG5S62CF?ref=Link
5	4	2018	11	29	坂町	年賀状、緊急連絡カード	8	8	https://sway.office.com/L6lpwM4N99MQzFqY?ref=Link
6	5	2018	12	4	坂町	年賀状、緊急連絡カード、文字入力練習、祝賀袋作成	4	10	https://sway.office.com/VCCX0yqBvjMqoZW?ref=Link
7	6	2018	12	14	坂町	年賀状、カレンダー	5	5	https://sway.office.com/vPXooC9y4sdm91ED?ref=Link
8	7	2019	1	16	呉市安登	緊急カード	6	4	https://sway.office.com/4qTKT9EUaJZZJAuA?ref=Link
9	8	2019	1	18	呉市天応	緊急カード、チラシ作り	9	5	https://sway.office.com/ebxoa4i6PGXzVKR5?ref=Link
10	9	2019	1	22	坂町	緊急カード、カレンダー作り	3	7	https://sway.office.com/ohHaMfOCBqQXnYMK?ref=Link
11	10	2019	2	8	坂町	インターネットの活用他	2	3	https://sway.office.com/pC0shfAEuxHi0zhJ?ref=Link
12	11	2019	2	8	呉市安登	緊急カード、表札、カレンダー作り	6	4	https://sway.office.com/arFF8Oayeov38kKg?ref=Link
13	12	2019	2	21	呉市天応	名刺、緊急カード、チラシ作り、画像取り込み、歌集の印刷	9	5	https://sway.office.com/5kbrxlVopztYn61V?ref=Link
14	13	2019	2	26	坂町	緊急カード、カレンダー作り、自分の生まれた月カレンダー	3	9	https://sway.office.com/Jew6LzVJGYado0YH?ref=Link
15	14	2019	3	12	坂町	緊急連絡用マイカードの作成	3	4	https://sway.office.com/YL0rWzjW7JnBTBq?ref=Link
16	15	2019	3	13	呉市安登	自分の生まれた月カレンダー	7	4	https://sway.office.com/arj5He7VwHoqkUFV?ref=Link
17	16	2019	3	14	呉市天応	自分の生まれた月カレンダー、スマホの写真取り込み	7	4	https://sway.office.com/dzApZRoT0PLRK6BM?ref=Link
18	17	2019	3	22	坂町	のカレンダー作り、文字入力練習、スケジュール表付きカレンダー、ユーチューブで演歌	4	5	https://sway.office.com/tuJghBBqdsi9gBLS?ref=Link
19	18	2019	3	25	呉市天応	ラベル、表札シール、チラシ、文字入力練習	11	5	https://sway.office.com/Z2JlwKebRqKhO2xP?ref=Link

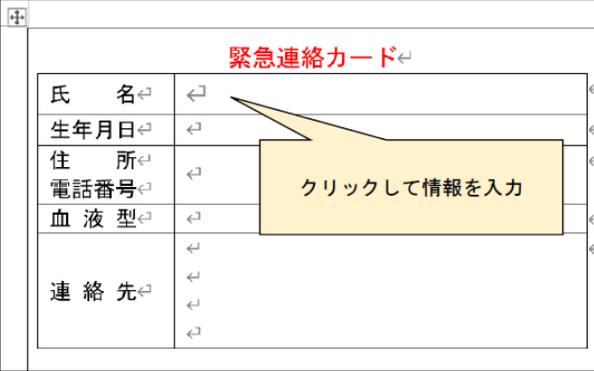
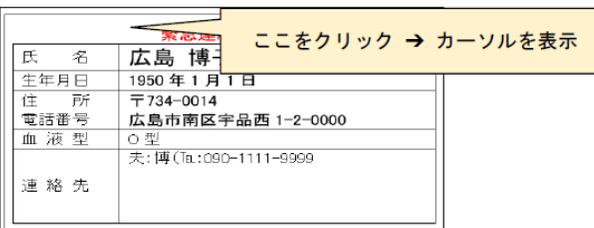
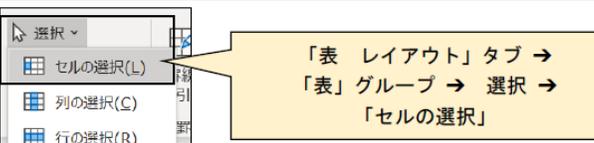


2.パソコン研修テキスト

パソコン研修会で使用するために作成したテキストを更に使いやすくするよう見直し整理しています。

説明書

緊急連絡カードの作成

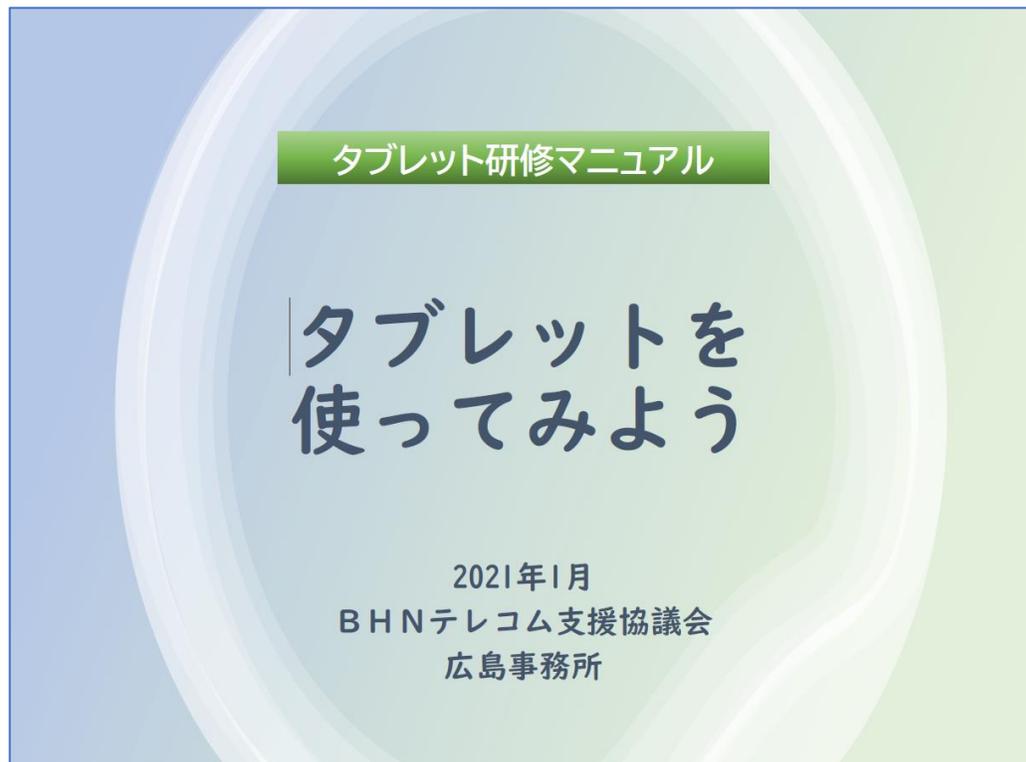
1 連絡先情報を手書きで準備	緊急連絡先カード手書き資料用を開き、手書き情報を準備しておく、作業がスムーズになる
2 緊急連絡先カード元を開く → 必要な情報を入力	
3 入力した「セル」内でクリック	
4 セルの選択	

ワードの様式



3.タブレット研修テキスト

タブレットの基本的な使い方やメール(Gmail)の基本的な使い方のマニュアルを作成しています。



4.防災研修テキスト

スマホ等を活用して、防災・減災のための情報を的確に受信するとともに、被災状況や安否情報を確実に発信できるようにするためのマニュアルを作成しています。

「NHK ニュース・防災アプリ」の使い方

- NHKのニュース記事や動画に加えて、防災のためのさまざまな情報を提供
- 災害関連の最新の動向を把握できるので、豪雨や台風などの自然災害が頻発している昨今、スマホに入れておきたい定番アプリの1つ
- 災害情報としては、津波や地震、台風、警報・注意報などの情報をカバーしており、これらの各種情報を地図上に表示して確認できることが特徴

ここからインストール



Android



iPhone

緊急時に役立つ LINEの使い方

2022年4月



5.パソコン研修資料

シニアネットひろしま作成が作成したパソコン研修資料(解説動画とテキスト)を体系的に整理し活用できるようにしています。

	A	B	C	D	E
1	PC研修 基礎編				
2	No.	項目	内容	PDF資料	説明動画
3	1	パソコン新常識	パソコン利用の新常識	http://www.sanbe.jp/snh/28k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=NayMSYxHLPi
4	2	ICT用語	最近のニュースに出てくるICT用語の解説	http://www.sanbe.jp/snh/23k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=5D1SNg6QmMM
5	3	Gメール-1	アカウントの作成、受信トレイの操作	http://www.sanbe.jp/snh/11k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=Hgl5UxVcpwg
6	4	Gメール-2	使いやすくするための設定や操作	http://www.sanbe.jp/snh/12k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=j8jWi8y0wM
7	5	Gメール-3	添付ファイルの開き方	http://www.sanbe.jp/snh/25k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=ZY6zK8TZeSw
8	6	QRコード	QRコードの読み取り、作成	http://www.sanbe.jp/snh/26k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=76u15xYkV1w
9	7	GoogleKeep	クラウドのメモGoogleKeepの使い方	http://www.sanbe.jp/snh/16k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=QcO5VCnteVQ
10	8	パソコンでLINE	パソコンでLINEを使おう	http://www.sanbe.jp/snh/14k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=sLvkxjs_frQ
11	9	迷惑メール	詐欺メールの実例と見分け方	http://www.sanbe.jp/snh/27k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=BRINKcgXPxk
12	10	Windows10フォト	画像の編集(トリミング・傾き補正・サイズ変更)等	http://www.sanbe.jp/snh/30k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=JpCAWkzdeSg
13	11	NHKニュース防災	防災情報を入手するのに有効なアプリの使い方	http://www.sanbe.jp/snh/35k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=241yv2ACfWs
14	12	接種証明書	コロナワクチン接種証明書の設定方法	http://www.sanbe.jp/snh/43k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=QN1PKIjXT6o

	A	B	C	D	E
1	PC研修 活用編				
2	No.	項目	内容	PDF資料	説明動画
3	1	Gメール-4	プロバイダーメールをGメールに取り込んで利用する	http://www.sanbe.jp/snh/13k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=ikEKToWIGIs
4	2	Gメール-5	Gメールの役だつ機能を紹介	http://www.sanbe.jp/snh/31k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=jeD69YyvAFc
5	3	GoogleMeet	オンラインでグループビデオ通話を簡単な操作で手軽に	http://www.sanbe.jp/snh/15k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=LDV1uprVHoE
6	4	Googleカレンダー-1	基本的な使い方とスマホで利用するには	http://www.sanbe.jp/snh/18k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=gbXh4DmIFag
7	5	Googleカレンダー-2	個人用のスケジュール管理	http://www.sanbe.jp/snh/38k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=z8nFc-xzFPM
8	6	Googleレンズ	手書き文字の読み取りなどの活用	http://www.sanbe.jp/snh/3k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=TMPyxOap4Q0
9	7	AdobeScan	紙の情報をデジタル化して保存する	http://www.sanbe.jp/snh/4k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=zc37pC3k39g
10	8	パソコンで音声入力	パソコンで音声入力	http://www.sanbe.jp/snh/9k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=sRIaU90Cbpo
11	9	メールのバックアップ	データが消えた時に備えてバックアップ	http://www.sanbe.jp/snh/10k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=Xt_hYMrWrf4
12	10	詐欺メール等に注意	詐欺メールの実例と対策	http://www.sanbe.jp/snh/17k.pdf	https://www.youtube.com/watch?v=GLX5x99G5a0

6.初心者向けスマホ講習テキスト

「デジタル活用支援事業」で総務省が作成した、初心者向けスマホ講習テキストを利用できるように整理しています。



デジタル活用支援

HOME 講習会 標準教材・動画 事業説明 地方公共団体の方へ

標準教材・動画

受講者向け教材・動画は、受講者・ご家族・自治体職員の方・どなたでもご利用が可能です。ご自宅での学習のほか、自治体独自で講習会等に取り組まれる際にご利用ください。

※視覚に障がいがある方は[こちら](#)。

※教材・動画を利用（公開・編集）する際は、出典を記載頂きますようお願いいたします。

※また、実施ガイドラインで定められたルールを順守して利用してください。

○「[利用者向けデジタル活用支援推進事業 デジタル活用支援実施ガイドライン（令和4年度）](#)」

【基本8講座】

○電源の入れ方、ボタン操作等

[Android向け教材 (PDF) (PPT) | (動画) (手話・字幕付き動画)]

[iPhone向け教材 (PDF) (PPT) | (動画) (手話・字幕付き動画)]

○電話のかけ方、カメラの使い方

[Android向け教材 (PDF) (PPT) | (動画) (手話・字幕付き動画)]

[iPhone向け教材 (PDF) (PPT) | (動画) (手話・字幕付き動画)]

3.広域災害後方支援ICT機能整備

南海トラフ巨大地震・首都直下地震等への備えとして、これまで活用してきたICT機器を再利用し「広域災害後方支援ICT機能」を整備しています。

ICT機器の整備・備蓄

- ・ パソコン50台、タブレット50台を開発センターに備蓄し、管理しています。
- ・ それぞれGoogleアカウントを作成・設定してすぐに使えるように整備しています。

支援用デジタルキットの作成・搭載

- ・ 支援用デジタルキットをパソコン・タブレットに搭載し、すぐに利用できるようにしています。

リモートでサポート

- ・ メールやオンライン通話により、デジタルキットへの質問やICT活用相談に対応します。
- ・ リアルタイムでのオンライン研修会を行うこともできるようにしています。
- ・ 必要により、パソコンの遠隔操作によるサポートも行うよう準備します。

今後の課題

活動の持続

- 活動を持続できるように、後継人材の確保と活動のノウハウ・スキルを後継者に研修できるようにしておく必要があると考えています。

ソフトウェアの使用期限

- 備蓄パソコンのOS=Windows10は2025年まで、Officeもサポート切れとなるので、対応を検討する必要があります。
- タブレットのOS=Android6.0は、今のところ使用期限はないものの、アプリによっては既に対応しないものも出ています。

平常時の活用

- 備蓄機器の平常時の活用も検討し試行しています。

4. 今後の支援活動の在り方

支援活動の目的である「地域コミュニティの再生・活性化」のために、ICT研修、自治会活動支援、地域の情報交流、オンラインサポートの活動を展開してきました。(次ページ以降に具体例)

さらに、地域でのマイナンバーカード活用支援として、マイナポータルの利用やマイナポイントの申し込みの支援を行いました。

これらの経験を生かして、今後とも地域において活動を展開していきます。

ICT研修

PC、タブレット、スマホの研修

自治会活動支援

チラシ作成、エクセルで会計

地域の情報交流

LINEグループ、SNS活用

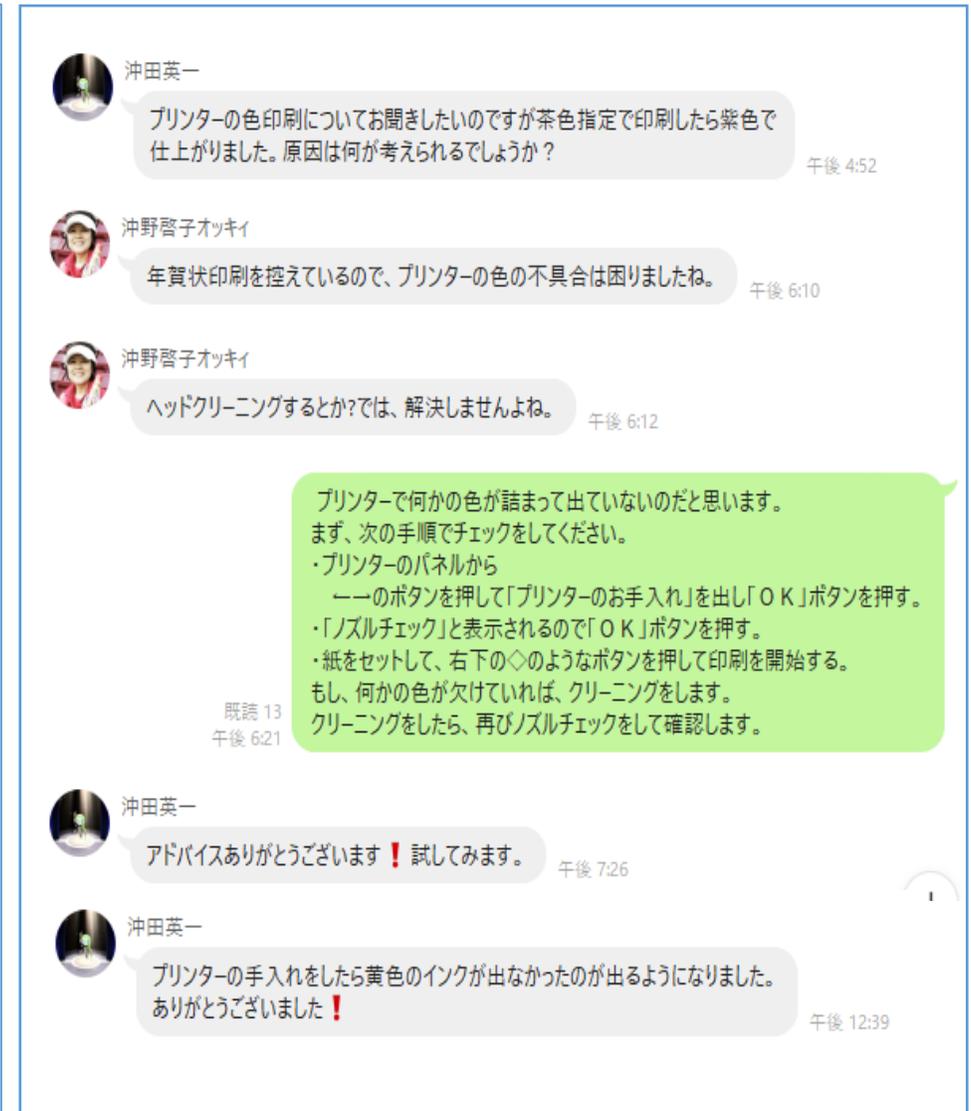
オンラインサポート

ビデオ会議、遠隔操作

地域コミュニティの再生・活性化

LINEグループ

- 呉市天応、坂町、大田市北三瓶の各地区ごとにLINEグループを作成し日常的に交流しています。当方のメンバーが“呼び水”となり、情報を発信し利用を誘ってきました。
- 特に呉市天応では毎日活発に情報交換が行われています。毎日のように現地の写真を投稿してくれる方もあります。野球シーズンにはカープの話題で盛り上がります。
- LINEはオンラインサポートにも活用しており、設置している機器のトラブル対応にも有効に使えています。
- コロナ禍で現地に行けないときにオンラインミーティングを試行しています。



SNS活用

- 地域の情報を収集したり、地域からの情報発信を行うにはSNSの活用が有効です。
- これまでの経験からも災害時にSNSの活用が有効だと言われています。
- SNSにはいくつかの種類があり、それぞれの特性を知り、使い分けるのが望ましいようです。
- SNSを利用した事件や人権侵害が発生するなど負の側面が強調されることもあり、不安を持つ人もあるので、安全な利用を啓発する必要があります。
- SNSを安全かつ有効に活用するための研修を試行しています。

作成中のSNS活用マニュアル



SNSの活用方法

- 従来からの知人との交流**
 - これまで繋がりを持ってきた知り合いと近況を交換して交流を行う。
 - 頻りに会えなくても交流を深めることができる。
- 知りたい情報を探す**
 - 特定のことにに関する情報を横断的に検索して収集する。
 - ただし、中には誤った情報が含まれている場合があるので注意。
- 情報を発信**
 - 情報を広く発信するために利用する。個人やグループで趣味の情報や地域の情報を有効に発信することができる。
- 災害時に活用**
 - 災害発生時に情報を収集したり、救援等のために必要な情報を発信する。
 - 有効に活用するためには普段から利用しておくこと。

投稿する

あらかじめ撮っておいた写真から選択。複数枚投稿することもできる。

ハッシュタグ(#)とメンション(@)を有効活用

- 興味のある情報を探し出すには、検索機能を利用します。その際、ハッシュタグ(#)やメンション(@)を有効に活用します。#は検索キーワードへのリンク、@は情報発信者へのリンク

同じキーワードを付けて投稿された記事がリストアップされる

マイナンバーカード活用支援

- 備蓄パソコンの平常時の利用のひとつとして、地域の人から希望があった、マイナンバーカード活用の支援を試してみたところ、問題なく有効に活用できることを確認しました。
- 備蓄パソコンに手持ちのカードリーダー(NFC TypeB)を接続、公的個人認証クライアントソフト、マイナポータルアプリ、マイナポイントアプリをインストールすることにより、マイナンバーカードを読めるようになりました。
(必要なソフトが一カ所にまとめられていないのでわかりにくい)
- マイナポータルサイトから交付金受取用の銀行口座を登録し、健康保険証利用の申請をしたうえで、マイナポイントのサイトから申し込みを行うことにより、最大2万円分のポイントを受け取ることができます。
この手続きを自分でできない人が多いので、支援をしたらとても喜ばれました。



5.開発センターにおける活動

- これまで活動拠点してきた、広島・島根の2カ所を「開発センター」として、今後の活動にも対応していきます。
- 広島開発センターでは、これまでの活動の経験・ノウハウと資料を取りまとめたデジタルキット化作業及び現地での支援活動を行うための研修を行っています。更に、今後の新たなネット活用型支援活動の実証を行えるように検討していきます。
- 島根開発センターは、備蓄パソコン・タブレットの保守・管理を行うとともに、今後の新たなネット活用型支援活動に対応できる利用方法の開発・マニュアル等の作成を行っています。



広島開発センターの最近の活動

2022年12月6日の活動

研修

- 多数の写真を共有することができる、マイクロソフトのクラウドサービス「Sway」の活用を指導できるように、先日行った三次市への視察旅行の写真为例に共有コンテンツの作成方法を復習しました。

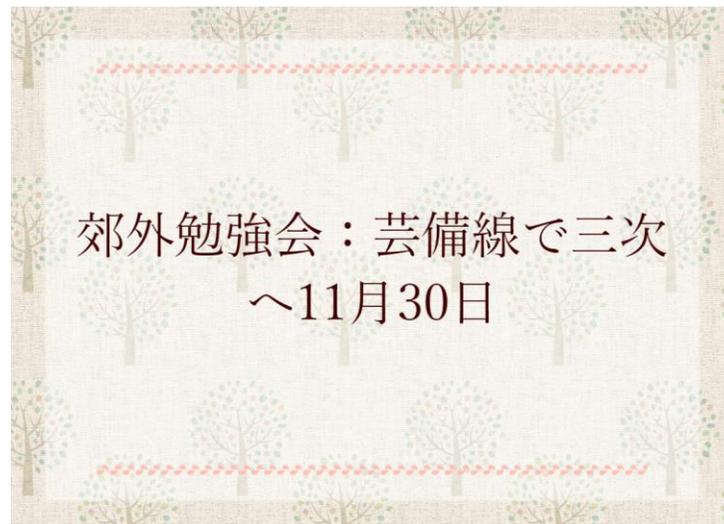
現地活動の準備

- 12月14日に行う呉市天応での支援活動には、要望のあった年賀状作成などを行う予定としているので、その準備を行いました。
- 宛名書きもしたいという要望もあるので、その手順を確認するとともに、来年のカレンダーのサンプル作成等を行いました。

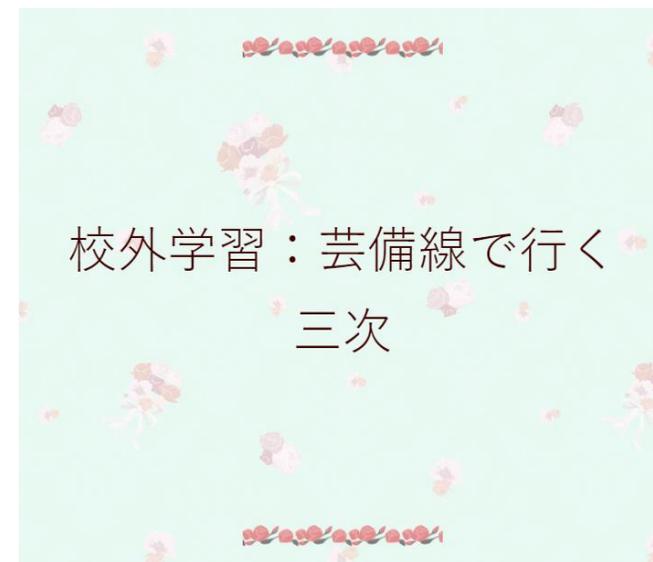


「Sway」で写真を共有

- Swayは、無料で利用できる、マイクロソフトのクラウドサービス(容量無制限、マイクロソフトアカウントが必要)です。
- テキストや画像をクラウドにアップロードし、テンプレートを使って簡単にWebページを作成することができます。
- できたWebページのURLを知らせると、受け取った人はブラウザで見ることができるので、写真等をグループで共有するのに有効です。(見る人はブラウザが使えるればいいので、誰でも手軽に利用できる。)



サンプル



Swayの使い方 [マニュアル](#) [動画での説明](#)

島根開発センターの最近の活動

2022年9月29日、11月24日、12月8日の活動

SNS活用

- SNSの基本的な使い方を知り、関心のある情報を収集し、地域の情報を発信できることを目指します。

スマホで日記

- 研修参加者から寄せられた「スマホで日記が書けないか？」という要望に応じて、簡単に利用できる日記帳アプリを紹介しました。

スマホ・パソコンで年賀状作成

- 年賀状作成の時期になったので、参加者からの要望もある年賀状作成を行いました。プリンターを持ち込み、全員が作成した年賀状を印刷確認するところまでできました。



SNS活用

- SNSは、様々な情報を得たり、地域の情報を発信するのに有効な手段です。災害時にも有効な情報伝達ツールになります。
- 一方、SNSは誹謗中傷・虚偽情報など悪いイメージもあり、一般の住民(特にシニア)にはとっつきにくいものとなっていたところがありました。
- そこで、SNSの特性と安全に利用するための注意点を理解したうえで、代表的なSNSとしてInstagramとFacebookの基本的な使い方についての研修を行いました。



テキストをBHNホームページで公開

スマホで日記

- 研修参加者から寄せられた「スマホで日記が書けないか？」という要望に応じて、簡単に利用できる日記帳アプリを紹介しました。
- 日記帳アプリを実際にインストールして利用してもらい、文章だけでなく写真も添付できることや過去の日記を検索できることなど、デジタル化のメリットを体験してもらうことができました。

「かわいい日記帳」の使い方

簡単に使える日記帳アプリで、文章だけでなく、写真も添付できる。

Androidは  「Playストア」で「かわいい日記帳」で検索し、アプリをインストールする。

iPhoneには  「App Store」に「シンプル日記」という同等なアプリがある。



クリックしてテキストをダウンロードできます。

年賀状作成

- 年賀状作成時期となり、参加者からの要望が強い年賀状作成を行いました。
- 誰でも簡単にできる方法として、日本郵便のオンラインサービス「はがきデザインキット」を使用し、パソコン及びスマホで作成し印刷するところまで2時間の研修時間内で完了することができました。
- 参加者は、スマホで年賀状を作成でき、スマホから直接プリンターに印刷をかけることができることに驚いていました。
- システム構成は次ページのとおりです。

パソコンで年賀状を作成

「はがきデザインキット」で検索

郵便年賀.jp

はがきデザインキット 2023

直感的な操作で、誰でも簡単に、楽しくはがきがつくれる無料のサービス

「はがきデザインキット」は、PCやスマートフォンを使い、直感的な操作で、誰でも簡単に、楽しく年賀状が作れる無料のアプリです。イラストや写真などが簡単に取り込めるなど、さまざまな年賀状をデザインすることができます。

PCでデザインしたい方は

ウェブ版

スマホでデザインしたい方は

スマホアプリ版

提供機能

クリックしてテキストをダウンロードできます。

【年賀状作成研修のシステム構成】



6. 現地活動の位置付け

これまでの「被災者支援事業」から「国内災害ICT支援活動拠点ネットワーク事業」への移行に伴い、現地活動の位置付けを見直し、新たな活動として位置付けて展開することにしました。

●「国内災害ICT支援活動拠点ネットワーク事業」は、次のような目的で実施することとされているので、これに対応した活動を具体化していきます。

1. ICT機器を「復興フェーズを迎えた各被災地においてICTを活用した地域コミュニティ再生・活性化支援継続活動」に活用
2. 各現地事務所の「次世代へノウハウ継承研修」に活用
3. 「事前復興」の支援から、デジタル田園都市国家構想等を参考にしながら「シニアによる新しいネットワーク型社会貢献活動事業」への取り組み準備活動を進める

[BHNホームページから](#)

6-1 復興フェーズを迎えた各被災地においてICTを活用した地域コミュニティ再生・活性化支援継続活動

①広島県呉市天応

- ・現地活動+LINEグループ(14人)
- ・自治会の活動を支援

②広島県呉市安浦

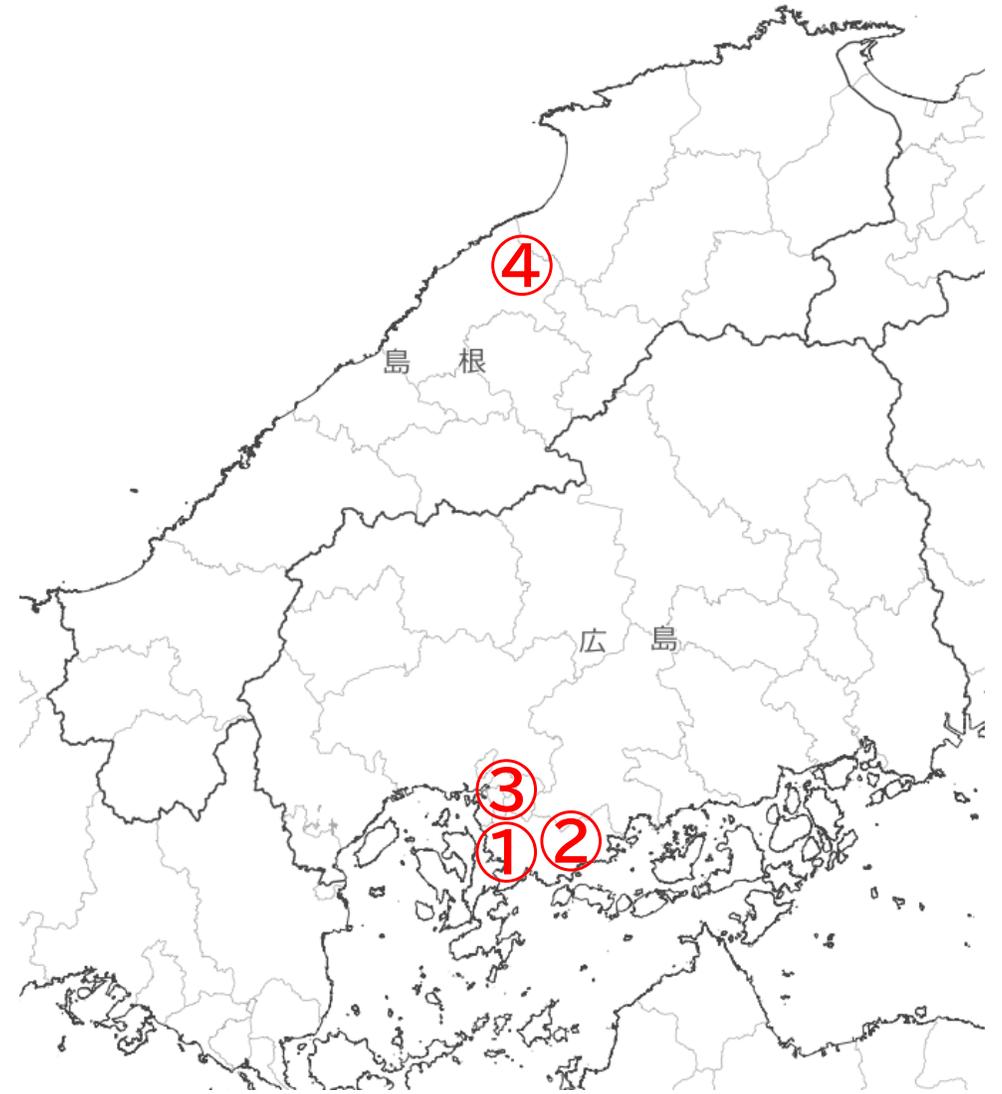
- ・現地活動再開、LINEグループ構築(10人)
- ・シニアのICT活用支援、孤立化防止

③広島県坂町

- ・LINEグループ(10人)
- ・定期的な現地活動は行っていない

④島根県大田市北三瓶

- ・現地活動+LINEグループ(17人)
- ・まちづくりセンターの活動を支援



6-3 シニアによる新しいネットワーク型社会貢献活動事業

自主防災活動支援

- ・ 減災のために、防災情報を的確に受信し適切な行動をとる必要があります。
- ・ そのために、地域の団体と連携してICT活用防災研修を実施します。

地域活性化支援

- ・ 地域団体の取り組みに協力して、地域活性化のためのICT活用を支援します。
- ・ 例えば、地域のLINE連絡網構築、マイナンバーカード取得・活用、ICT活用サポートセンター、地域からの情報発信、コミュニティビジネスなどを支援します。

誰一人取り残されないデジタル化

- ・ 「デジタル田園都市国家構想」にあるようにデジタル化の恩恵をあらゆる人が享受できるように支援を行います。



広島市シニア大学院OB会で防災研修(2021.12.14)

7. ネット活用型被災者支援活動手法の開発・活用

1. SNSの活用

2. オンラインミーティング

3. オンライン研修(オンデマンド、リアルタイム)

4. パソコン等の遠隔操作

7-1 SNSの活用

- SNS(LINE等)を利用して現地と日常的にコミュニケーションをとることができます。
- 現地の状況を把握するとともに、ICT活用の相談に応えることもできます。
※右は、パソコンのトラブルに(ウイルス感染の詐欺広告)対応した事例
- 現地の自治会等での連絡網としてSNSの利用が有効であり、構築の支援もできます。

進藤徳夫 norio

岡崎幸子

パソコンがトロイの木馬にかかりました、対処方法教えてください。 午後 8:51

寺岡和子

福田さんにSOS出して！ 午後 8:53

寺岡和子

私のご近所さんは強制終了して電源のコンセントを抜いたら回復したそうです。

廣中 香

強制終了で良いかと思いますが...。 午後 8:55

進藤徳夫 norio

強制終了出来ない 午後 8:59

進藤徳夫 norio

直りました、ありがとうございました 午後 9:04

呉市天応地区とのLINEグループ

今気がつきましたが、進藤さんのパソコンに「トロイの木馬に感染した」というような表示が出たということでしょうか？
これは、それ自体が詐欺広告です。再起動すれば消えるはずですが。
Windowsにウイルス対策機能があるので、もし本当にウイルスが入ってきたとしても防いでくれるから心配ありません。
可能性はほとんどないですが、万が一ウイルス対策の網にかからないような新種のトロイの木馬ウイルスに感染したとしたら表示は何も出ません。

既読 13
午前 9:33

7-2 オンラインミーティング

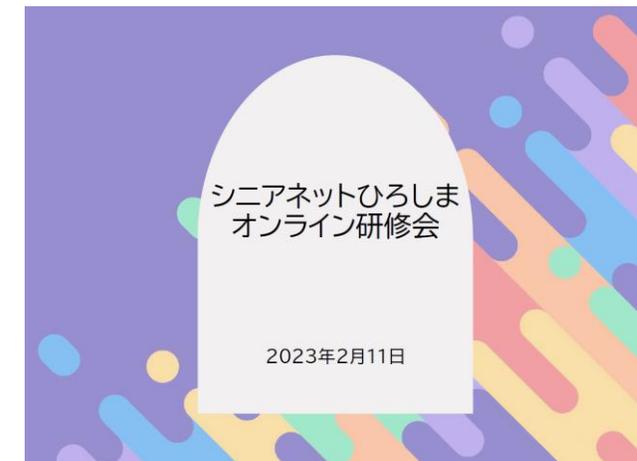
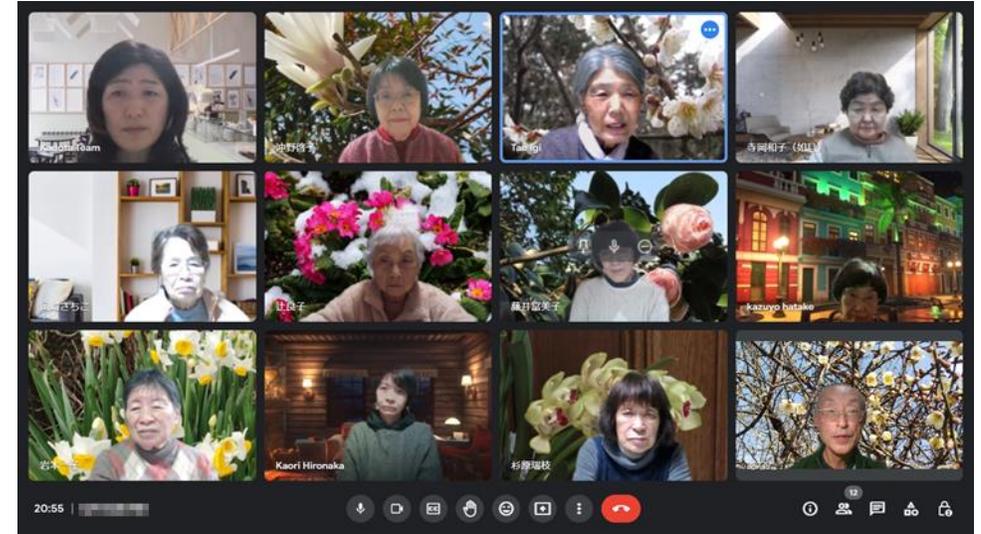
- 現地との間で、SNS(LINEなど)のグループ通話やWeb会議システム(Zoom, Teams, Meetなど)により、オンラインでのミーティングを行うことができます。
- 定期的に行うことにより、現地の状況把握と必要な支援を行うことができます。
- 右は、当方で行っている呉市天応地区とのオンラインミーティングのスクリーンショットです。



2023年1月18日「エンライン大浜」

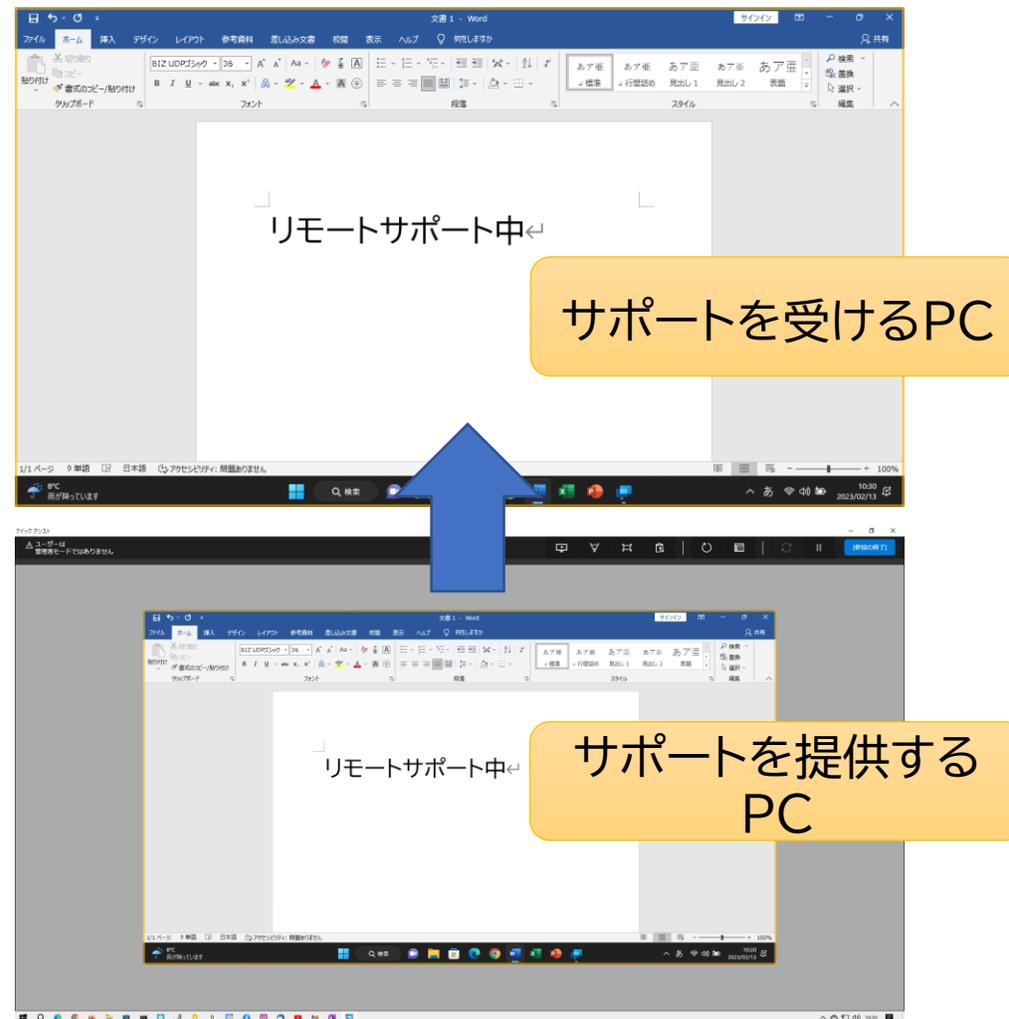
7-3 オンライン研修(オンデマンド、リアルタイム)

- ICT活用のために教材をネット上に置いて、必要に応じてダウンロードし自習してもらうオンデマンド型研修を行うことができます。
- 更に、Web会議システムを利用してリアルタイムでの研修も行うことができます。
- 右は、シニアネットひろしまで毎月行っている「オンライン研修会」のスクリーンショットです。



7-4 パソコン等の遠隔操作

- 現地に設置したパソコンの操作に困ったようなときは、リモートでパソコンの操作を行うことによりサポートすることができます。
- Windows10, 11に備わっている機能「クイックアシスト」を利用することにより、簡単に遠隔操作を行うことができます。(サポートを提供する側にはマイクロソフトアカウントが必要、サポートを受ける側はアカウントは不要)



8. 支援活動の目的と地域での連携

私たちが活動している地域の状況はそれぞれ違うので、地域にあった活動を展開できるように活動目的を設定して取り組んでいます。

また、それぞれの地域団体と連携して対応します。

呉市天応地区

- 自治会の業務におけるICT活用を支援します。
- この地区は高潮や津波による災害が発生する恐れがあるので、地区の自主防災組織による地域の防災対策強化を支援します。
- 住民のICT活用を支援し地域での情報共有を促進することにより、地域コミュニティの活性化を支援します。
- 私たちが行うICT研修会に参加してもらうことにより、シニアの孤立化を防止するとともに、必要があれば社会福祉協議会等による見守り・生活支援につなげます。
- 天応大浜アパート自治会及び呉市社会福祉協議会と連携して支援活動に取り組みます。



2020年9月9日撮影

呉市安浦地区

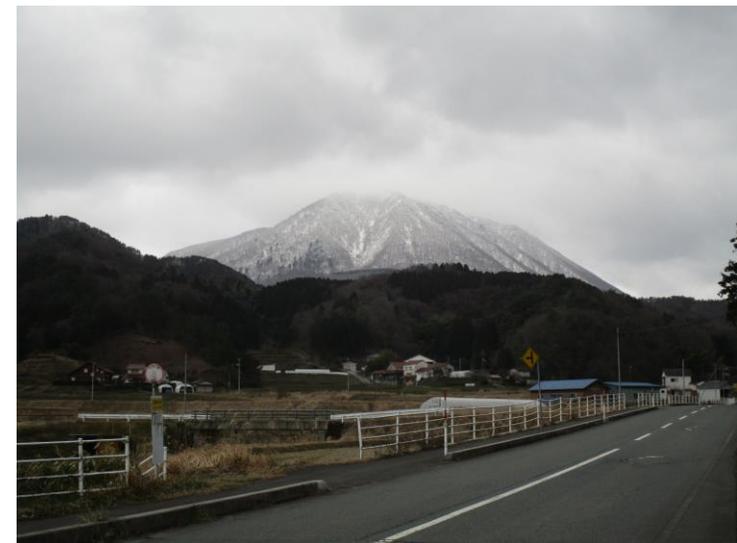
- 私たちが行うICT研修会に参加してもらうことにより、シニアの孤立化を防止するとともに、必要があれば社会福祉協議会や地域包括支援センター等による見守り・生活支援につなげます。
- 災害を経験しているのですが、災害発生の危機が迫っているときにどのように行動したらいいのかわからないという状況なので、地区の防災ボランティアの活動も利用しつつ地域の防災対策強化を支援します。
- 住民のICT活用を支援し地域での情報共有を促進することにより、地域コミュニティの活性化を支援します。
- 呉市社会福祉協議会及び地域包括支援センターと連携して支援活動に取り組みます。



2023年2月16日撮影

島根県大田市北三瓶地区

- 地区内には土砂災害の恐れがある箇所が多くあり、自主防災会を結成していますが、さらに強化しようとしている防災・減災の取り組みを支援します。
- 高齢は進んでいるものの若手のIターン・Uターン・起業も見られる地域で、コミュニティビジネス創出の研究なども行われている地域活性化の取り組みを支援します。
- 地域内には日本遺産に指定されている「三瓶小豆原埋没林」などの文化財や特産物がありながら十分に発信できていないことから、地域からの情報発信の強化を支援します。
- 住民のICT活用を支援し地域での情報共有を促進することにより、地域コミュニティの活性化を支援します。
- 大田市北三瓶まちづくりセンター、北三瓶よろず会(まちづくり推進協議会)及び自治会・自主防災会と連携して取り組みます。



2023年3月2日撮影